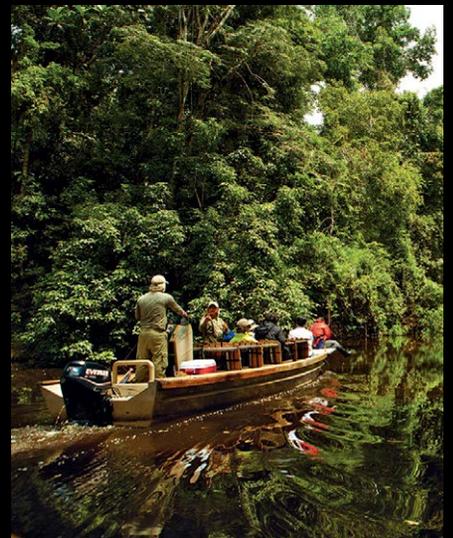


アマゾンの旅

エキゾチックな大自然に接近





アンデス山脈を源流とするアマゾン川は世界最長の河川として考えられ、ブラジル、ペルー、コロンビア、ベネズエラ、エクアドル、ボリビア、ガイアナ、スリナム、仏領ギアナ等の国々を少なくとも6,400kmにわたり流れています。アマゾン川の緑豊かな川岸には、素晴らしい大自然が息づいています。

ペルー

失われたインカの都市と、植民地への入り口



インカ文化の最高傑作であるマチュピチュは15世紀に建設され、1911年に発見されました。スペイン人征服者によって発見されることなかったマチュピチュは、素晴らしい保存状態を保っていました。狭い窓を持つ太陽の神殿、コンドルの神殿マチュピチュへの入り口ともいえる海拔3,400mのクスコにおいて、ペルーの先住民の伝統が、どのようにスペインのコロニアル遺産と融合したのかをご覧ください。

海拔3,800mの、航行可能な世界最高地点の湖であるチチカカ湖は、ペルーとボリビアを分かつ神々しいアンデスの山々に囲まれています。チチカカ湖では、湖畔で育つ葦で出来た浮島、ウロス島をお訪ねください。

ベトナム&カンボジア

陽光ふりそそぐビーチと、世界最大の宗教建築アンコール・ワット



アクア・メコンの全てのクルーズが、300以上の寺院から成る世界遺産、アンコール・ワットで知られるカンボジアへと向かいます。カンボジアの首都プノンペンの王室建築やフレンチクォーターから、川の中で高床式の住居に暮らす遠い村の人々まで、訪れる価値のある場所となっています。

ベトナムでは、サイゴンの近代的で刺激的なカオスから、豊かな野鳥の生息地であるエメラルド色の森と、ウコン色の袈裟に身を包んだ僧たちの聖なる儀式が共存する、人里離れた仏教寺院までをクルーズします。また伝統的な漁村や所々に水牛のいる豊かな水田、メコン川沿いに暮らしたマルグリット・デュラスを始めとする著名な作家によって知られるようになった仏領インドシナ時代の痕跡を訪ねます。